

令和7年第2回常陸太田市議会定例会の開会にあたり、私の所信を申し述べる機会をいただきましたことに対し、議長をはじめ、議員各位に心より厚くお礼申し上げます。

初の本会議において、市政運営に臨む私の基本的な考え方を申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたく、所信の一端を述べさせていただきます。

はじめに、1期4年にわたり、本市の発展のためにご尽力されました宮田前市長のご功績とご功労に深甚なる敬意と感謝の意を表する次第でございます。

私は、この度の市長選挙におきまして、多くの市民の皆様、各方面の皆様、そして議員各位から温かいご支援をいただき、市政運営の重責を担わせていただくこととなりました。

この間、市民の皆様と直接お会いする機会を数多くいただき、市政に対する様々な意見や要望を伺いました。その中で郷土への深い愛情と、元気で活気あるまちづくりへの強い願いがひしひしと伝わってまいりました。

こうした市民の皆様の思いにしっかりと応えるためには、丁寧かつ分かりやすい説明を心がけ、信頼を築きながら、ご理解とご協力のもとに着実に事業を推進していくことが極めて重要であると改めて実感したところであります。

本日、市長としてこの場に立たせていただき、歴代市長をはじめ、市民、議員各位、そして職員の皆様が築き上げられてこられた本市発展の歴史に、深い敬意を表するとともに、市政を継続的に担うことの意義、そして責任の重さに身の引き締まる思いを新たにしております。

自治体の根幹的使命は、市民一人ひとりの命と健康を守り、誰

もが安心・安全に暮らせる環境を整えることであります。

少子化や人口減少といった厳しい社会情勢の中にあっても、本市の豊かな自然、歴史、そして文化を大切に守り育てながら、次世代へとしっかりと継承していく責務を果たすべく、各種施策の推進に積極的に取り組んでまいります。特に、本市のまちづくりの基盤となる「東部土地区画整理事業」、「市道 0139 号線整備事業」、「新総合体育館建設事業」の 3 つのプロジェクトにつきましては、着実に完成へと導き、市の将来を見据えた持続可能な発展の礎としてまいる所存です。

今後の市政運営におきましては、これまで市議会議員として培ってまいりました経験を最大限に活かし、市民の皆様との対話を重視し、市民の声に真摯に耳を傾け、市民目線に立った政策立案と実行に努めてまいります。

また、本市の将来の指針となる新たな総合計画の策定を令和 7 年、8 年の 2 か年で進める予定であり、現行施策の検証を踏まえつつ、柔軟で創造的な発想のもとに策定作業を進めてまいります。

財政状況が依然として厳しい中ではありますが、市民の皆様、議員の皆様、そして全職員と心を一つにしながら、「新しい常陸太田市」の創造に向けて、誠心誠意取り組んでまいる決意であります。

そのうえで、私は市政運営にあたり、次の六つの柱を中心に施策を展開してまいります。

## 1 少子化人口減少対策

進行する少子化人口減少への対応は、持続可能なまちづくり

の最重要課題です。若い世代が安心して子どもを産み育てることが出来る環境づくりに全力で取り組んでまいります。妊娠、出産から子育てに至るまで切れ目のないきめ細やかな支援体制を整え、子育て世帯の経済的負担軽減に資する支援策の拡充、伴走型相談体制の充実に注力してまいります。

また、移住・定住の促進においては、空き家バンクの活用や魅力的な移住支援策の発信、相談体制の充実、さらには地域の魅力発信による UIJ ターン促進等を通し「住んでみたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを進め、移住者の増加を図ってまいります。

## 2 人が輝くまちづくり

市民一人ひとりが主体となり、いきいきと暮らすことが、まちの活力の源となります。人が輝くことで、まちは活性化します。誇りと愛着を持てるまちづくりに取り組み、人が輝く未来につなげてまいります。とりわけ、未来を担う子どもたちが、自然、歴史、文化と触れ合う体験を通じて郷土への誇りと愛着を育むとともに、地域の持つ課題に対し自らのアイデアで取り組む機会を提供します。加えて、幼児期からの英語教育や ICT の活用を推進し、グローバル社会に対応する人材の育成に努めるとともに、すべての子どもが自分らしく輝く教育環境の充実に取り組んでまいります。

また、高齢者を対象に実施しております胃・肺・大腸がんの各がん検診費用の無償化に加え、新たに帯状疱疹ワクチン定期予防接種費用についても、無償化を進めてまいります。あわせて、医師会、市民団体、企業等との連携を図り、フレイル予防をさら

に推進するとともに、健康ポイント事業の拡充等を通じ、健康で安心して暮らせるまちを目指してまいります。

### 3 魅力アップのまちづくり

本市は、豊かな自然環境や歴史・文化、高品質な特産物、そして地域活動を通じて培われた住民間の絆など、かけがえのない資源を有しております。これらの有形・無形の資源を有機的に活用し、内外への積極的な情報発信を通じて市の認知度と魅力度を高め、市民の地域への愛着や誇りを醸成してまいります。

さらには、地域資源の新たな開発を促し、人やお金、そして企業などの資源を地域に取り込むことで地域力を高め、「選ばれるまち」を目指したシティプロモーションを推進してまいります。

### 4 元気な産業づくり

地域の活力を支えるのは、農業、商工業、観光といった地元産業の持続的な発展です。

農林畜産業につきましては、次世代を担う農業者や農業法人、企業等と連携し、担い手の育成や事業継承の支援、地域計画や基盤整備等により農地の集積・集約化を図ってまいります。また、地域の特性を生かした農作物の高品質化や新たな商品開発等、6次産業化等への支援を進め、生産者の所得向上を図るとともに、耕作放棄地の再生、森林整備など、農林畜産業の振興と農村環境の保全を図ってまいります。

商工業分野では、DXの推進や起業・創業支援を強化するとともに、地元企業への就業促進の機会を創出するなど、活性化に向けた支援に取り組んでまいります。

また、働く場の確保のため、引き続き、東部土地区画整理事業地や工業団地等への企業誘致により、働く場の確保と地域経済の活性化を目指してまいります。

観光分野では、映画・ドラマ等のロケ誘致によるフィルムコミッションの強化に努め、地域の魅力を広く発信することで、観光誘客につなげてまいります。

## 5 安心・安全なまちづくり

近年、自然災害が頻発・激甚化する中で、市民の命と暮らしを守る防災・減災対策の強化が急務です。民間事業者と連携した災害時一時避難場所の確保や、自主防災組織、消防団との連携と発生時における初動体制及び避難体制の強化、避難所環境の充実、さらには関係機関と連携した継続的な防災訓練を通じて、自助・共助・公助の重要性を市民の皆様と共有してまいります。

道路整備につきましては、国・県など関係機関と連携を図りながら、進めてまいります。特に、市道 0139 号線は、日立市の三次救急医療機関への救急搬送時間の短縮や通勤・通学環境の改善が期待できるなど、命と暮らしを繋ぐ道路でありますので、日立市も含め十分な連携を図り、積極的に整備を進めてまいります。

また、通学路をはじめとする生活道路の整備につきましては、市民の安心安全に直結することから、着実に整備を進めてまいります。

地域公共交通につきましては、高齢者などに配慮した予約型 AI 乗合タクシーの運行拡充や自動運転 EV バスレベル 4 実証運行の推進などにより、ニーズに対応した利便性の高い公共体系

の整備を進めてまいります。

## 6 行財政運営

多様化・複雑化する行政需要や喫緊の課題に的確に対応し、将来にわたり持続可能な行財政運営を確立するため、施策の選択と集中により、限られた財源を効果的に配分し、真に必要な事業を推進してまいります。

第三セクターの統合については、組織体制の効率化と機能強化が図られるよう着実に調整を進めるとともに、公共施設等再配置計画に基づく施設の廃止、統廃合も着実に進めてまいります。

また、AIの活用や行政手続きのオンライン化等による市民の利便性向上、職員の負担軽減・経費削減を図るとともに、市政を支える職員の人材育成にも積極的に取り組んでまいります。

ここまで、政策の一端を述べさせていただきましたが、人口減少社会という困難な局面を乗り越えるためには、市民の皆様や民間事業者、そして行政が一丸となって「オール常陸太田」で課題解決に取り組んでいくことが不可欠です。

私は、常陸太田で生まれ育ち、地元で働き、歴史の流れを肌で感じ、まちの賑わいが減ってきているなか、常陸太田市の元気を何とか取り戻すべく、若い時からまちづくりやコミュニティ活動を通じて、地域の活性化に取り組んで参りました。

昨年の市制施行 70 周年・合併 20 周年記念事業を、市民の皆様と一緒に進めるなかで感じた、次世代に繋ぐ誇りある「常陸太田市」を、市民の皆様と「共に」創って参りたいと考えておりま

す。

「この大地は我々のものではなく、未来からの借り物である。だから汚したり壊したりすることなく未来に返さなくてはならない。」という、私の好きな言葉がございます。このような想いを胸に、市民の皆様「住みたい」、「住んでよかった」、「住み続けたい」と思っただけのよう、私が、その先頭に立ち、冒頭申し上げましたとおり、市民の皆様との対話を大切に、常に謙虚な姿勢と誠実な行動を忘れず、市の発展のために全身全霊で邁進してまいる所存でございます。

市民の皆様、並びに議員の皆様方のご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願いを申し上げまして、私の所信表明とさせていただきます。

令和7年6月16日

常陸太田市長 藤田 謙二